

平成29年3月定例会

代表質問・一般質問要旨

予定時刻

<代表質問>

3月 1日(水)

一新会	島 軒 純 一 議員	10:00~12:10
明誠会	島 貫 宏 幸 議員	13:10~14:40
市民平和クラブ	我 妻 徳 雄 議員	14:50~16:20

3月 2日(木)

公明クラブ	佐 藤 弘 司 議員	9:00~10:30
日本共産党市議団	高 橋 壽 議員	10:40~12:10

<一般質問>

3月 2日(木)

高 橋 英 夫 議員	13:10~13:40
相 田 光 照 議員	13:40~14:10
皆 川 真紀子 議員	14:20~14:50
成 澤 和 音 議員	14:50~15:20
木 村 芳 浩 議員	15:30~16:00

<一般質問>

3月 3日(金)

山 村 明 議員	9:00~ 9:30
鈴 木 藤 英 議員	9:30~10:00
堤 郁 雄 議員	10:10~10:40
鳥 海 隆 太 議員	10:40~11:10
中 村 圭 介 議員	11:20~11:50
太 田 克 典 議員	13:00~13:00
小 島 一 議員	13:30~14:00
齋 藤 千恵子 議員	14:10~14:40

米沢市議会

代表質問

3月 1日(水)

一新会 島 軒 純 一 議員

人口減少社会における持続可能な米沢市のために

- 1 広域連携行政で果たすべき役割の認識について
- 2 人口を増やすための具体策は。
- 3 まちづくりのグランドデザインについて
- 4 産業振興について
- 5 市民の安全・安心の確保について
- 6 安心できる医療環境の整備について
- 7 健康長寿日本一の取り組みについて
- 8 子育て環境の充実について
- 9 市民に信頼される行政体であるために

明誠会 島 貫 宏 幸 議員

- 1 持続可能な未来を創造するために
 - (1) 新年度市政運営にあたり重要視すべき課題は何か。
 - (2) 課題解決に向けた組織体制と取り組みについて
 - (3) 継続して取り組み成果を上げなくてはいけないものは何か。
- 2 本市産業の将来像について
 - (1) 産業振興策について
 - (2) 若年層の人口流出と雇用対策について
 - (3) 生産年齢人口減少問題に対する本市の対応策は
 - (4) 東北中央自動車道がもたらす経済効果の認識について
 - (5) 地域商社設立の狙いと設立時期は。
 - (6) 東京オリンピック・パラリンピックでの本市産品PRに向けた進捗は。
- 3 中心市街地活性化策の在り方と今後の展望について
 - (1) 都市計画マスタープランとの整合性をどのように図るのか。
 - (2) 周辺地域を結ぶ公共交通をどのように拡充させるのか。
- 4 教育行政について

- (1) 市立学校適正規模・適正配置の内部検討の進捗は。
- (2) 生きていく力を身につける実践教育について

5 公共施設等適正管理推進事業債(仮称)の本市の対応について

市民平和クラブ 我 妻 徳 雄 議員

- 1 市政運営方針について
 - (1) 産業振興による地域経済の活性化について
 - (2) 「健康長寿日本一を目指して」について
 - (3) 東日本大震災における避難者支援について
- 2 財政健全化計画の見直しについて
- 3 市職員の定員適正化計画と職場環境について
- 4 米沢市公共施設等総合管理計画の推進について
 - (1) 建物系施設保有総量の削減について
 - (2) 建物系施設の複合化推進について
 - (3) 計画推進のための人材確保について
- 5 米沢市立病院の将来像について
 - (1) 医療連携について
 - (2) 医師の確保策について
 - (3) 訪問看護の現状と課題について

代表質問 3月 2日(木)

公明クラブ 佐藤 弘 司 議員

市政運営方針、平成29年度の主要施策について

- 1 挑戦し続ける活力ある産業のまちづくり
働き手不足に対応し、高齢者が活躍できる社会の構築について
- 2 郷土をつくる人材が育つ、教育と文化のまちづくり
時代の変化に適応した、米沢の未来を見据えた公教育について
- 3 子育てと健康長寿を支えるまちづくり
健康寿命を延ばす社会システムの構築を。
- 4 自然と都市の魅力が調和し、賑わいと交流を促すまちづくり
空き家問題に対する現状と、まちの景観、利活用を含めた進展は。
- 5 安全安心に暮らせるまちづくり
高齢ドライバーの交通事故対策について
- 6 持続可能なまちづくり
市立学校適正規模・適正配置推進事業とまちづくりについて

日本共産党市議団 高橋 壽 議員

- 1 子育て支援について
 - (1)二つの乳児事件から、「母子保健」に教訓として生かすべき課題はないか。
 - (2)「子どもの貧困」をどのように捉えているのか。また、その施策は。
 - (3)新年度からの要保護世帯の支給基準額の引き上げに合わせ、準要保護世帯の支給額(就学援助の入学準備金)を引き上げるべきではないか。
- 2 医療と介護について
 - (1)次期第7期(平成30～32年度)介護保険事業計画の策定年度だが、現状の課題は何か。
 - (2)国民健康保険の県単位化の課題は何か。
- 3 「差し押さえ」と市民の生活再建のための支援体制づくりについて
 - (1)「差し押さえ」の現状はどうなっているか。
 - (2)滋賀県野洲市に学び、生活再建支援につながる滞納整理を検討すべきでは。
- 4 男女共同参画の市政について
「米沢市男女共同参画基本計画」を実施し、本市における男女の格差はどのように改善されたか。

一般質問

3月 2日(木)

高 橋 英 夫 議員

「WinWin よねざわ大作戦」について

- (1) 空き家利用者への家賃補助制度について
- (2) 移住コンシェルジュの設置と市のホームページ活用について
- (3) 多子家庭支援のファミリーパスの導入について
- (4) 学校給食費無償化への段階的取り組みについて
- (5) 子育て支援のなお一層の拡充について
- (6) 歴史・自然・文化・観光と学校教育、人材育成について

相 田 光 照 議員

財政健全化計画について

- (1) 財政健全化計画は、誰が策定したのか。
- (2) 計画以外の追加施策はあったのか。
- (3) 議会からの財政健全化に対する提言をどのように捉えているか。

皆 川 真紀子 議員

行政事業レビューの導入について

成 澤 和 音 議員

教育における新聞の活用について

- (1) 新聞を活用した授業について
- (2) 「1学級1新聞」について

木 村 芳 浩 議員

こども食堂の開設と行政支援について

- (1) 本市独自でのこども食堂を設置する考えはあるか。
- (2) 民間団体への支援は考えているか。
- (3) フードバンクの設置の考えはあるか。

一般質問

3月 3日(金)

山 村 明 議員

利雪について
雪の利用をもっと積極的にやるべきではないか。

鈴 木 藤 英 議員

米沢ブランド推進とふるさと納税について
(1)ブランド推進の今後の具体的な取り組みは。
(2)ブランドの中心となる産業、分野とは。
(3)ふるさと納税の返礼品にブランド認定をしてはどうか。

堤 郁 雄 議員

高齢者(特に運転免許自主返納者)への公共交通の支援策はあるか。
(1)返納者の数は増えているか。
(2)返納者への施策はあるか。
(3)乗合タクシーの全市域での実施予定はあるか。

鳥 海 隆 太 議員

市庁舎の建て替えについて
(1)もっと早く計画を立てられたのではないか。
(2)建て替えに向けたタイムスケジュールは。
(3)どのような庁舎を考えているのか。
(4)予算措置は。

中 村 圭 介 議員

- 1 今後の空き家対策について
- 2 サイエンスパーク構想について

太 田 克 典 議員

本市におけるオープンデータの取り組みについて

- (1)現状をどのように認識しているか。
- (2)今後の取り組みは。

小 島 一 議員

本市のものづくりに寄与する振興策は

齋 藤 千恵子 議員

斜平山一帯の利活用・整備について

- (1)斜平山一帯の利活用について
 - ①斜平山の自然・動植物について
 - ②「宝の山」としての認識について
 - ③「健康の山」としての取り組みについて
 - ④環境学習の推進について
- (2)観光基盤の整備について
 - ①自然・歴史の保存について
 - ②「公共サインガイドライン」の整備について

<メモ用>

Handwriting practice lines consisting of 25 horizontal dotted lines.

This image shows a full page of primary-ruled paper. It features 20 evenly spaced horizontal dashed lines across the entire page, providing a guide for handwriting practice. The lines are light gray and extend from the left margin to the right edge of the paper. There are no other markings, text, or illustrations present.

- 携帯電話等、情報携帯端末並びに電子計算機などは、音を発しない措置をし、及び使用しないこと。
- 傍聴人は、傍聴席において写真、動画等を撮影し、又は録音しないこと。
- 議場における言論に対して、公然と可否の表明をし、又は拍手をしないこと。
- 議場の秩序を乱し又は会議の妨害となるような行為をしないこと。

8